

ようこそ建設業界へ

Welcome to
the construction industry

JOB SEARCH

建設業界への
就職をめざす
28卒のあなたへ

For those aiming
for employment
in the construction industry

PRESS

OB・OGが語る現場の声 / 内定者に聞いてみた / 採用・教育担当者に聞いてみた

- ・ 建築設計（設計事務所）・建設コンサルタント・ゼネコン（総合建設業）・サブコン/専門工事会社
- ・ ハウスメーカー（住宅建設業）・建築設備設計（設備設計事務所）・建築構造設計（構造設計事務所）
- ・ ディベロッパー（不動産開発業）・不動産会社・工務店・ディスプレイ業

NIKKEN GAKUIN

建設業界を目指す

28 卒の皆さんへ

これから始まる就職活動は、自分自身と向き合い、

未来を考える大切な時間です。

「何のために就職活動をするのか」

「どう準備を進めればいいのか」

といった疑問を抱くこともあるかもしれません。

この冊子では、業界ならではの特徴や働き方を理解し、

就職活動をスムーズに進めるための情報をまとめています。

年間スケジュールや業界研究のポイント、現場で働く先輩や

採用・教育担当者の声など、実際の建設業界に触れた内容を多く掲載しました。

就職活動は自分の未来を描く大切なステップです。

この冊子が、皆さんの就職活動を少しでも支え、

「自分らしい選択」を見つける手助けになれば幸いです。



Be your

For those aiming
for employment
in the construction industry

Contents

建設業界の業界マップ 02

建設業界でどんな仕事ができる? 04

年間スケジュール 4月からの動き方 10

本選考への準備

エントリーシート作成のポイント 12

ポートフォリオ作成のポイント 13

面接準備のポイント 13

How to Portfolio 14

Voice あの職種では 具体的にどんなことをするの?

OB・OGが語る現場の声 16

内定者に聞いてみた 17

学生が聞きたい20個のQ&A 18

採用・教育担当者に聞いてみた
企業が求める人物像 20

日建学院×ARCHIES
建設業界に期待する6つのキーワード 22

資格・試験について 24

法定講習 28

日建学院のコンテンツ紹介 29

self



Planning

企画・計画

01

デベロッパー（不動産開発会社）	土地取得から用途・規模・収支を検討し、建築事業全体の方向性を決定する中核的な役割。
不動産コンサルティング会社	市場動向や立地条件を分析し、事業として成立するかを第三者視点で助言する。
アセットマネジメント／PM会社	投資家目線で計画と運営を管理し、建物価値と収益性の最大化を目指す。

Permits and legal construction preparations

許認可・法務施工準備

03

建築確認検査機関・行政	建築基準法や条例に基づき計画を審査し、建設可能かを公式に判断する。
CM（コンストラクション・マネジメント）会社	発注者の立場で工事費・工程・品質を整理し、事業全体をマネジメントする。
法務・契約関連（行政書士等）	契約書作成や権利関係の整理を通じ、事業リスクを法的にコントロールする。

Planning

検査・販売・修繕・改修

05

不動産販売・仲介会社	完成した建物を市場につなぎ、売買や賃貸を通じて利用者へ届ける。
ビル・施設管理（FM・BM）会社	建物完成後の運営・点検・保全を行い、長期的な価値維持を担う。
リノベーション・改修会社	既存建築を改修し、時代や用途に合わせた新たな価値を与える。

Flow

● 業界の仕事解説

Business content

建築学生が思い描く将来像として、まず浮かぶのは設計事務所働く姿だと思います。しかし実際の建設業界は、設計だけで成り立っているわけではありません。一つの建築が完成するまでには、企画・計画、設計、許認可、施工、そして完成後の運営や改修まで、数多くの工程が存在し、それぞれの段階で多様な職種が関わっています。一般に、ビル一棟を建てるだけでも100種類

以上の業種が関与すると言われています。

例えば、建築の最初の段階である企画・計画では、デベロッパーや不動産コンサルタントが土地の特性や市場性を分析し、事業として成立するかを検討します。ここでは、建築知識に加えて、経済性や社会性を読み解く力が求められます。設計段階では、意匠・構造・設備といった専門分野の設計者が協働し、建築の形や性能を具体化して

建設業界の 業界マップ

02

Design

設計

意匠設計事務所	建築のコンセプトや空間構成を考え、デザインと機能を図面として具体化する。
構造設計事務所	建物の安全性と合理性を確保するため、構造計算や構造計画を専門に行う。
設備設計事務所	電気・空調・給排水など、建物が快適に機能するための設備計画を担う。

04

Design

施工段階

ゼネコン(総合建設会社)	設計図をもとに工事全体を統括し、多くの専門業者をまとめながら建物を完成させる。
サブコン(設備・電気・空調)	設備分野の専門業者として、建物の性能や快適性を現場で実装する。
躯体工事会社	建物の骨組みとなる構造体を施工し、品質と精度が強く求められる。
内装工事会社	室内の仕上げ工事を担い、使いやすさや空間の印象をかたちづくる。
外装・仕上工事会社	外壁や屋根を施工し、建物の耐久性や外観デザインを完成させる。
仮設・足場工事会社	安全で効率的な工事を行うため、足場や仮設設備を現場に構築する。
施工管理・現場監督	現場に常駐し、工程・品質・安全を日々管理しながら工事を進行させる。
建材・設備メーカー	建築に用いられる材料や設備を開発し、品質の安定した製品を供給する。
資材調達・物流関連	工事に必要な資材を適切な時期に現場へ届け、工程を支える。

※実際の業務範囲は、会社やプロジェクトによって異なります。



例えば、ビル一棟建てるのに約**100種類以上**の業種が関わります。

いきます。多くの建築学生が志す領域ではありますが、設計の中にも複数の専門性や役割が存在することは、学生のうちは見えにくい部分でもあります。

さらに、計画を実現するためには法規や契約の整理が不可欠です。建築確認や各種許認可、工事発注の準備など、目立たないものの極めて重要な役割を担う職種も存在します。そして施工段階に入ると、ゼネコ

ンを中心に、サブコン、専門工事会社、施工管理者、メーカーなど、最も多くの人材が関わり、現場で建築が形づくられていきます。設計図が実際の建築として立ち上がる過程には、多様な専門職の連携があります。

また、建築は完成して終わりではありません。完成後には、不動産としての販売、日常的な管理、さらには修繕やリノベーションといった仕事が長期にわたって続いて

いきます。社会や時代の変化に応じて建築を更新し、使い続けていく視点も、現代の建設業界では重要性を増しています。

建設業界には、設計以外にも多様な仕事が存在しており、キャリアの選択肢は想像以上に広いです。自分はどの工程で、どのような立場から建築に関わりたいのか。本業界マップを通じて、ご自身の将来像を主体的に考えるきっかけとしてほしいです。